BUFFALO

USB&LAN 接続ハードディスク

HD-CELU2 シリーズ

ユーザーズマニュアル

はじめに 3 1

セットアップ 4 2

使いかた 5 3

Web 設定画面 30 4

付録 40 5



インターネットで弊社製品の Q&A 情報を入手できます。
http://buffalo.jp/qa/index.html

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... ↘次へ に続くページは、次にどこのページへ進めばよいかを記しています。

文中の用語表記

・Windows 搭載パソコンの場合、本書では、次のようなドライブ構成を想定して説明しています。
　C: ハードディスク
　D:CD-ROM ドライブ

・文中［ ］で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。

・本書に記載されているハードディスク容量は、1GB ＝ 1000^3byte で計算しています。OS やアプリケーションでは、1GB ＝ 1024^3byte で計算されているため、表示される容量が異なります。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社サポートセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭の OA 機器としてお使いください。万一、一般 OA 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般 OA 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときは、ご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

目次

1	はじめに	3

本製品の特長 3
各部の名称 3

2	セットアップ	4

セットアップ 4
セットアップ時の注意 4

3	使いかた	5

使用上の注意 5
USB モード、LAN モード共通の注意 5
USB モード時の注意 6
LAN モード時の注意 6
使いかた 7
USB モードの場合（LAN/USB 切替ボタン：赤色点灯） 7
LAN モードの場合（LAN/USB 切替ボタン：緑色点灯） 9
4GB 以上のファイルについて 10
LAN モードで本製品が見つからない（SHARE フォルダーを削除したときは） 10
LAN モードでの省電力機能（Eco マネージャー） 10
本製品の取り外しかた 11
USB モードの場合 11
LAN モードの場合 11
フォーマット 12
フォーマット時の注意 12
フォーマット手順 12
パスワードを設定する 15
本製品の IP アドレスを確認する 18

ルーターをお持ちでない方へ
（IP アドレスを手動で設定する手順） 19

作業の流れ 19

①パソコンの IP アドレスを変更する 20

②本製品の IP アドレスを変更する 26

③パソコンの IP アドレスを元に戻す 28

設定をリセットする (工場出荷時設定に戻す) 29

4 Web 設定画面 30

Web 設定画面とは 30

制限事項 30

表示方法 30

Web 設定画面の項目説明 31

TOP 31

基本 32

ネットワーク 34

Eco マネージャー 35

ディスク管理 36

セキュリティー 37

メンテナンス 38

システム状態 39

5 付録 40

バックアップ 40

バックアップの必要性 40

バックアップ用のメディア 40

バックアップデータの復元（リストア） 40

ハードディスクのエラーチェック
(スキャンディスク)【USB モードのみ】 41

ハードディスクの最適化 (デフラグ)【USB モードのみ】 41

特定のソフトウェアが使用できない場合 41

仕様 42

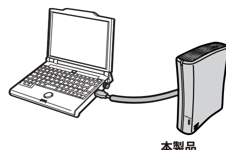
1 はじめに

本製品を使用する前に知っておいていただきたいことを説明しています。

本製品の特長

本製品は、USB ハードディスクとして動作する USB モードと LAN ハードディスクとして動作する LAN モードがあり、前面の LAN/USB 切替ボタンを押すことでモードを変更できます。

■ USB モード
USB ハードディスクとして使用できるモードです。



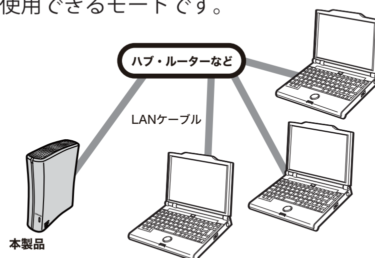
簡単で便利なUSB接続
(USB接続できるパソコンは1台のみ)

LAN/USB切替ボタンが
緑色点灯します。



LAN/USB切替ボタンが
赤色点灯します。

■ LAN モード
LAN ハードディスクとして使用できるモードです。

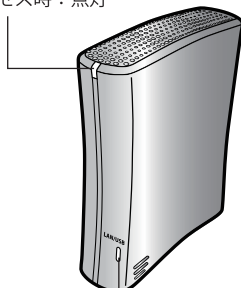


多人数で使えるLAN接続
(最大8台のパソコンで同時接続)

各部の名称

● 前面

アクセスランプ
アクセス時：点灯



LAN/USB 切替ボタン（電源ランプ）
本製品の動作モードを切り替えます。
緑点灯：LAN モード動作時
赤点灯：USB モード動作時
消灯：電源 OFF 時

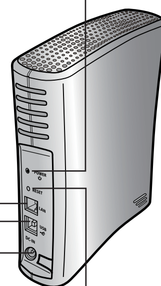
● 背面

電源ボタン

LAN ポート
LAN ケーブルを接続します。LAN ポート横のランプは LINK/ACT ランプです。リンク時に緑色点灯し、アクセス時に緑色点滅します。

USB ポート
パソコンや USB ハブの USB コネクターに接続します。

DC コネクター



リセットボタン
本製品の設定をリセットするときに使用します。
【P29「設定をリセットする」参照】

付属品の確認は別紙の「はじめにお読みください」を参照してください。

2 セットアップ

本製品のセットアップ時に注意していただきたいことを記載しています。

セットアップ

別紙「はじめにお読みください」に記載の手順でセットアップしてください。

セットアップ時の注意

● **Windows 2000 を使用している場合、セットアップ中に［新しいハードウェアの検出ウィザード］が表示されることがあります。この場合は、ウィザード画面の［完了］をクリックしてください。**
「このデバイス用のソフトウェアはインストールされましたが、正しく動作しない可能性があります。」と表示されますが、本製品は正常に動作します。

● **USB モードの場合、［デバイス マネージャ］（※）に次のデバイスが追加されます。**

※［デバイス マネージャ］は次の方法で表示できます。

Windows Vista .... ［スタート］をクリック→［コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→「続行するにはあなたの許可が必要です」と表示されたら［続行］をクリック→［デバイスマネージャ］をクリック

Windows XP.................................. ［スタート］をクリック→［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

Windows 2000 .... ［マイ コンピュータ］を右クリック→［管理］をクリック→［デバイス マネージャ］をクリック

使用 OS	追加場所	追加デバイス名
Windows Vista	ユニバーサルシリアルバスコントローラ	USB 大容量記憶装置
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名 USB Device
Windows XP/2000	USB(Universal Serial Bus) コントローラ	USB 大容量記憶装置デバイス
	ディスクドライブ	ユニットドライブ名 USB Device

3 使いかた

使用上の注意

⚠注意 ・本製品に仮想メモリーを割り当てないでください。本製品を取り外した際に、ハードディスク内のデータが破壊されるおそれがあります。
・本製品にアクセスしているときは、絶対に USB ケーブルや LAN ケーブル、AC アダプターを抜いたり、パソコンの電源スイッチを OFF にしたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
・ご使用の環境によっては、本製品を取り付けますと、パソコン本体の省電力モードが正常に動作しなくなる場合があります。その場合は、パソコン本体の省電力モードを無効にしてください。

USB モード、LAN モード共通の注意



本製品のアクセス中に USB/LAN 切替ボタンを押さないでください（動作モードを変更しないでください）。
アクセス中に LAN/USB 切替ボタンを押すと、本製品に保存されたデータが破損する恐れがあります。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● 本製品から OS を起動することはできません。

● 本製品に物を立てかけないでください。
転倒して故障する恐れがあります。

● USB モードと LAN モードを同時に使用できません。
本製品は、前面の USB/LAN 切替ボタンで使用モードを選択します。

● 本製品の動作時 、特に起動時やアクセス時などに音がすることがありますが 、異常ではありません 。

● 電源 OFF 時は、本製品の時刻は進みません。


本製品の発熱について

本製品は筐体を利用して内部からの熱を放熱しております。筐体表面が熱くなりますが、異常ではありません。また、電源が OFF の状態でも、待機電流のため少し温かくなります。熱がこもると故障の原因となりますので、次の事項は行わないでください。

・本製品を横置きで使用しないでください。
・本製品を積み重ねて使用しないでください。
・本製品の上や周りに放熱を妨げるような物を置かないでください。
・本製品に布などをかぶせないでください。

USB モード時の注意

- **本製品に保存できる 1 ファイルの最大容量は 4GB です。また、LAN モードで保存した 4GB 以上のファイルも USB モードでは使用できません。**
  本製品は FAT32 形式でフォーマットされているため、1 ファイルの最大容量が 4GB となります。LAN 接続では、1 ファイルが 4GB 以上のファイルでも保存できます。

- **ファイル保存するときは、「SHARE」フォルダーの中に保存してください。SHARE フォルダー内に保存していないデータは、LAN モード時に読み出しできません。**

- **本製品には、「SMBACC.CFG」（ID やパスワードの設定ファイル）、「BIGFILE.CFG」（4GB 以上のファイルの管理ファイル）、「SCANLOG」（ディスクスキャンのログファイル）が保存されていることがあります。これらのファイルは削除、編集しないください。削除、編集すると、本製品に保存したデータの読み出しができなくなることや、ID やパスワードなどの設定が変更されることがあります。 正しく動作しない場合は、設定をリセット (P29) してください。**

- **本製品はホットプラグに対応しています。**
  本製品やパソコンの電源スイッチが ON のときでも USB ケーブルを抜き差しできます。ただし、必ず定められた手順に従って取り外してください。【P11「本製品の取り外しかた」】

  ⚠注意 本製品にアクセスしているとき（アクセスランプが点灯しているとき）は、絶対に USB ケーブルを抜かないでください。本製品に記録されたデータが破損する恐れがあります。

- **複数の USB 機器と併用したいときは、弊社製 USB ハブ（別売）などを使用してください。**

- **Windows Vista/XP 搭載のパソコンで使用する場合**
  本製品を USB1.1 準拠の USB コネクターに接続すると、「 高速 USB デバイスが高速ではない USB ハブに接続されています。（以下略）」と表示されます。そのまま使用する場合は、[×] をクリックしてください。

LAN モード時の注意

- **1 時間以上アクセスしないとセッションを切断します。**

- **1 ファイル 128GB 以上のファイルを保存することはできません。**

- **本製品に同時にアクセスできるパソコンは、最大 8 台です。**

使いかた

本製品は、USB モードと LAN モードを切り替えて使用することができます。ここでは、各モードの使いかたを説明します。

⚠注意 **付属ソフトウェア「簡単バックアップ」の展開は、バックアップを行ったモードで行ってください。違うモードでは、展開できません（例：USB モードでバックアップして、LAN モードで展開することはできません）。また、バックアップしたデータを移動、編集、削除すると展開できませんので、ご注意ください（移動した場合は、元の場所に戻せば展開できます）。**

USB モードの場合（LAN/USB 切替ボタン：赤色点灯）

USB モードでのファイル保存、読み出し、編集は、「SHARE」フォルダー内で行います。ここでは、USB モードでデータを保存する場合を例に説明します。本製品が USB ケーブルで接続されていることを確認してからお使いください。

●**本製品にデータを保存する場合は、「SHARE」フォルダーの中に保存してください。**
「SHARE」フォルダーに保存しないと、LAN モードにした場合にファイルが表示されません。

●**本製品は「SMBACC.CFG」、「BIGFILE.CFG」、「SCANLOG」が保存されていることがあります。これらのファイルは削除、編集しないください。**
「SMBACC.CFG」、「BIGFILE.CFG」、「SCANLOG」が保存されている場合は、本製品を開いたときに表示されます。「SMBACC.CFG」、「BIGFILE.CFG」、「SCANLOG」を操作すると、本製品内に保存されているデータが読み出せなくなったり、本製品の設定が変更される可能性があります。

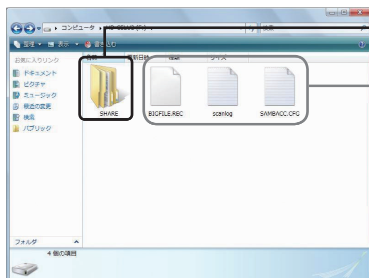
● **USB モードでは、4GB 以上のファイルの保存、読み出し、編集はできません。**
4GB 以上のファイルを保存、読み出し、編集する場合は、LAN モードに切り替えてお使いください。

1 コンピュータ（マイコンピュータ）内にある「HD-CELU2」をダブルクリックします。

HD-CELU2 が表示されていない場合は、USB モードになっていない可能性があります。本製品前面の LAN/USB 切替ボタンを確認し、USB モード（赤色点灯）になっていることを確認してください。

次のページへ続く

2 「SHARE」フォルダーをダブルクリックします。

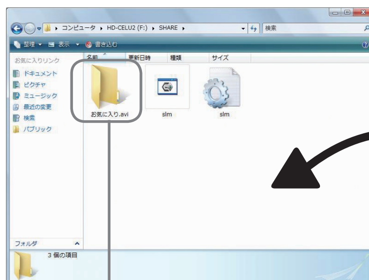


[SHARE] フォルダーをダブルクリックします。

⚠注意 **「SMBACC.CFG」、「BIGFILE.CFG」、「SCANLOG」は削除、編集しないでください。**

本製品には、「SMBACC.CFG」、「BIGFILE.CFG」、「SCANLOG」が保存されていることがあります。これらのファイルには本製品の設定などが保存されています。削除、編集しないください。削除、編集した場合、本製品に保存されている 4GB 以上のデータが読み出せなくなる場合や、本製品の設定が変更される場合があります。

3 保存するファイルやフォルダーをドラッグします。



ファイルやフォルダー

⚠注意 **LAN モードで保存した 4GB 以上のファイルは、フォルダーとして表示されます（上の画面では、LAN モードで 4GB 以上のファイル「お気に入り avi」を保存後、USB モードに切り替えた場合の例です）。このフォルダーを削除、編集しないでください。削除、編集すると、LAN モードにした場合でも読み出しできなくなります（USB モードの場合は、4GB 以上のファイルを読み出しできません）。**

以上で完了です。

LAN モードの場合（LAN/USB 切替ボタン：緑色点灯）

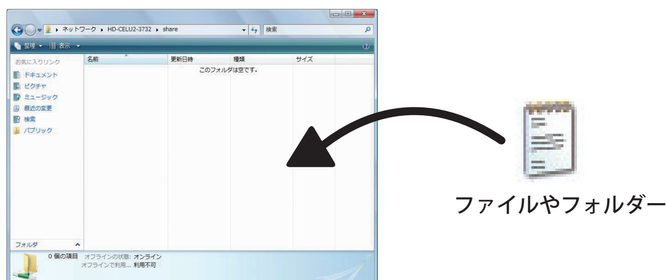
ここでは、LAN モードでデータを保存する場合を例に説明します。本製品が LAN ケーブルで接続されていることを確認してからお使いください。

1　デスクトップの 「HD-CELU2-XXXX を開く」(XXXX は数字) をダブルクリックします。

製品が見つかりませんと表示されたら、本製品が USB モードになっている可能性があります。本製品前面の LAN/USB 切替ボタンを確認し、LAN モード（緑色点灯）になっていることを確認してください。

⚠注意　デスクトップに アイコン表示されていない場合は、別紙「はじめにお読みください」の手順でセットアップしてください。

2　保存するファイルやフォルダーをドラッグします。



以上で完了です。

4GB 以上のファイルについて

4GB 以上のファイルは、LAN モードでお使いの場合のみ保存、読み出し、編集することができます。

USB モードでお使いの場合、4GB 以上のファイルを保存できません。また、LAN モード時に保存した 4GB 以上のファイルは、同名のフォルダーとして表示され、正しく読み出しをすることができません。これは、本製品のフォーマット形式である FAT32 形式の仕様です。4GB 以上のファイルを扱う場合は、LAN モードでお使いください。

※ 本製品を NTFS 形式でフォーマットすると USB モードで 4GB 以上のファイルを扱えるようになりますが、LAN モードで使用できなくなります（LAN モードは、NTFS 形式に対応しておりません）。

LAN モードで本製品が見つからない（SHARE フォルダーを削除したときは）

LAN モードで本製品が見つからない場合は、USB モードで SHARE フォルダーを削除してしまった可能性があります。
USB モードで本製品の SHARE フォルダーを削除してしまうと、LAN モードでアクセスできません。その場合は、Web 設定画面から本製品をフォーマットする必要があります。必要なデータを他のメディア（ハードディスク）へバックアップした後、P12「フォーマット」の手順で本製品をフォーマットしてください。

LAN モードでの省電力機能（Eco マネージャー）

本製品を LAN モードでお使いの場合、一定時間アクセスないときに自動的にハードディスクの回転を止め、電力消費を抑える機能を搭載しています。ハードディスクの回転を止めるまでの時間は Web 設定画面（P35）で設定できます。初期設定では 10 分に設定されていますので、お好みに合わせて設定を行ってください。

メモ　USB モードで使用されてする場合は、付属ソフトウェア「eco マネージャー for HD」を使って省電力の設定を行えます。詳しくは、eco マネージャー for HD の電子マニュアルを参照してください。

本製品の取り外しかた

モードによって取り外しの手順が異なります。以下の手順で取り外してください。

USB モードの場合

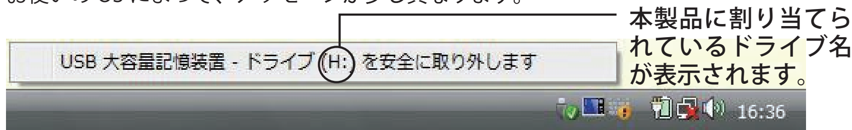
⚠注意 **必ず次の手順に従って取り外してください。次の操作を行わずに本製品を取り外すと、データが破損したり製品が故障する原因となります。以下の説明では、Windows Vista の画面を例に使用しています。**

メモ パソコンの電源スイッチが OFF の時は、そのまま取り外せます。

1 タスクトレイに表示されているアイコン (Windows Vista）/ （Windows XP）/ （Windows 2000）をクリックします。

2 メニューが表示されたら、[USB 大容量記憶装置（デバイス） - ドライブ（X:）を停止します] をクリックします。

下線部には、本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。
お使いの OS によって、メッセージが少し異なります。



本製品に割り当てられているドライブ名が表示されます。

⚠注意 **TurboUSB を有効にしているときは、メニューに「TurboUSB」と表示されます。**

3 「USB 大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。」と表示されたら、[OK] をクリックし、本製品を取り外します。

メモ Windows XP の場合は、[OK] をクリックする必要はありません（表示は自動的に消えます）。

LAN モードの場合

本製品のアクセスランプが点灯していないことを確認してから取り外してください。

⚠注意 **本製品へのアクセス中に取り外すと、データが破損、消失する恐れがあります。必ずアクセスランプが点灯していないこと（本製品にアクセスしていないこと）を確認してから取り外してください。**

フォーマット

本製品をフォーマットする際は、以下の手順で行ってください。

> ⚠注意 **本製品のフォーマットは、Web 設定画面から行います。本製品のアイコンを右クリックしてフォーマットしたり、ディスクの管理からフォーマットしないでください。**
> Web 設定画面からフォーマットしないと、LAN モードで使用できなくなります。

フォーマット時の注意

- **フォーマット中は、絶対にパソコンの電源スイッチを OFF にしたり、リセットしないでください。**
  ディスクが破損するなどの問題が発生します。また、以後の動作についても保証できません。ご注意ください。

- **フォーマットすると、ハードディスク内にあるデータは失われます。フォーマットする前に、必要なデータを他のメディア（ハードディスクなど）にバックアップしてください。**
  ハードディスクのフォーマットは、お客様ご自身の責任で行うものです。
  誤って大切なデータやプログラムを削除しないように、注意してください。

- **NTFS 形式でフォーマットしないでください。**
  本製品は、製品独自の方法でフォーマットを行います。NTFS 形式でフォーマットしないでください。NTFS 形式でフォーマットした場合、LAN モードで本製品を使用できなくなります。

- **USB モードの場合は、4GB 以上のファイルを保存できません（LAN モードの場合は 4GB 以上のファイルも保存できます）。**
  本製品は、FAT32 形式でフォーマットされます。USB モードでは、FAT32 形式の制限により、1 ファイルの容量が 4GB 以上のファイルを保存できません。

フォーマット手順

本製品を LAN モードに切り替えてから、Web 設定画面上でフォーマットを行います。

1 本製品を LAN モードにします。

LAN モードでお使いの場合は、そのまま手順 **2** へ進んでください。

次のページへ続く

2　ユーティリティー CD をパソコンにセットします。

3　ドライブナビゲーターの画面が表示されたら、[オプション] をクリックします。



[オプション] をクリックします。

ドライブナビゲーターが表示されない場合は、ユーティリティー CD 内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックしてください。

4　[Web 設定画面を開く] をクリックします。

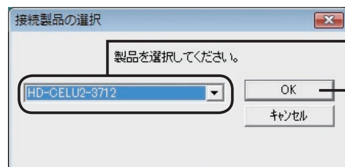


[Web 設定画面を開く] をクリックします。

ユーザー名、パスワードの入力を求められた場合は、本製品の管理者用（Administrator）のユーザー名とパスワードを入力してください。

本製品を複数台接続している場合は？

本製品を複数台接続している場合は、以下のような選択画面が表示されます。フォーマットする製品を選択して［OK］をクリックしてください。

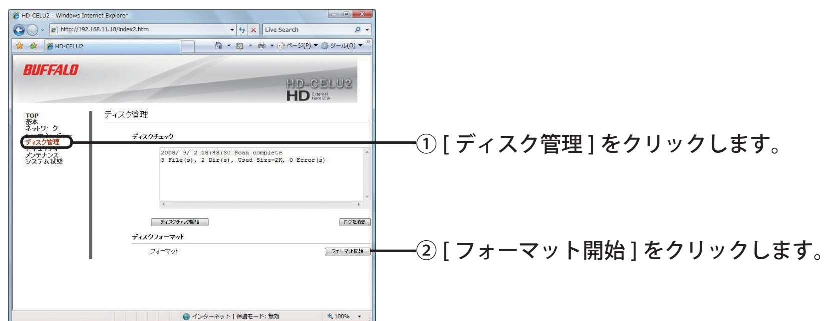


①フォーマットする製品を選択します。

② [OK] をクリックします。

次のページへ続く

5 [ディスク管理] をクリックし、[フォーマット開始] をクリックします。



以上でフォーマットが始まります。フォーマットが完了するまでお待ちください。

パスワードを設定する

本製品のパスワードを設定し、設定画面の表示時や LAN モードでの使用時にパスワードを必要とさせることができます。

1 **本製品を LAN モードにします。**

LAN モードでお使いの場合は、そのまま手順 **2** へ進んでください。

2 **ユーティリティー CD をパソコンにセットします。**

3 **ドライブナビゲーターの画面が表示されたら、[オプション] をクリックします。**



ドライブナビゲーターが表示されない場合は、ユーティリティー CD 内の「DriveNavi.exe」をダブルクリックしてください。

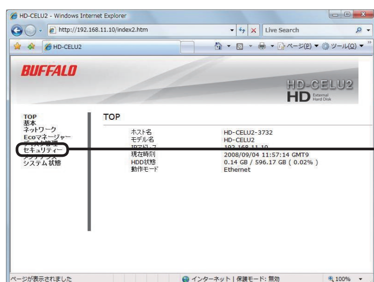
4 **[Web 設定画面を開く] をクリックします。**



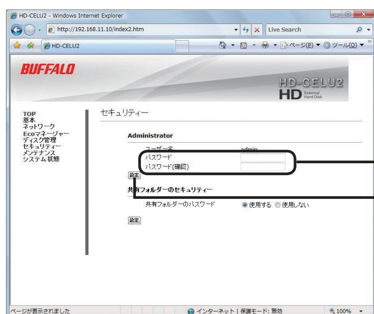
※ 本製品を複数台接続しているときは、製品の選択画面が表示されます。その場合は、設定を行う製品を選択してください。

次のページへ続く

5 [セキュリティー] をクリックします。



6 パスワードを 2 箇所に入力し、[設定] をクリックします。



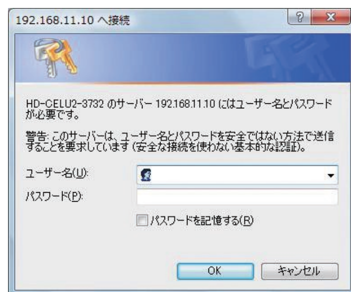
メモ
- LAN モードでの使用時にパスワードを必要とさせる場合は、「共有フォルダのパスワード」の「使用する」にチェックを付け、[設定] をクリックします。
- パスワードを削除する場合は、「パスワード」欄と「パスワード（確認）」欄を空欄にして、[設定] をクリックします。

以上で完了です。設定したパスワードは、パソコンを再起動したときから有効になります。

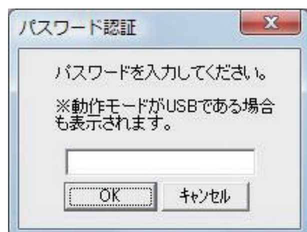
パスワードを設定した場合は？

パスワードを設定した場合、Web 設定画面を表示するときに以下の画面が表示され、ユーザー名とパスワードの入力が必要となります。ユーザー名は「admin」と入力してください（ユーザー名は変更できません）。

※ エクスプローラーから本製品の IP アドレスを入力するなどして Web 設定画面を表示した場合、パスワードを設定していなくても以下の画面が表示されることがあります。その場合は、ユーザー名に「guest」と入力し（パスワードの欄は空欄のまま）、[OK] をクリックしてください。



共有フォルダのパスワードを使用するにした場合は、本製品にアクセスする時に以下の画面が表示され、パスワードの入力が必要となります。



※エクスプローラーから本製品の IP アドレスを入力するなどして本製品にアクセスした場合、上の画面が表示されることがあります。その場合は、ユーザー名に「admin」、パスワードに設定したパスワードを入力してください。パスワードを設定していないときは、ユーザー名に「guest」と入力し（パスワード欄は空欄のまま）、[OK] をクリックしてください。

本製品の IP アドレスを確認する

本製品の IP アドレスやサブネットマスクなどのネットワーク設定を確認する手順を説明します。

1　本製品を LAN モードにします。

2　ユーティリティー CD をパソコンにセットします。

3　［オプション］をクリックします。



[オプション] をクリックします。

4　［情報を見る］をクリックします。



[情報を見る] をクリックします。

※ 本製品を複数台接続している場合は、製品お選択画面が表示されます。IP アドレスを確認する製品を選択し、［OK］をクリックします。

以上で、IP アドレスやサブネットマスクなどの情報が表示されます。

ルーターをお持ちでない方へ（IP アドレスを手動で設定する手順）

ルーターを使用していない（DHCP サーバー機能がない）場合、本製品の IP アドレスは「192.168.11.150」に固定されます。LAN モードで使用する場合、本製品やパソコンの IP アドレスを変更する必要があります。以下の手順で変更してください。

メモ
・USB モードでは、以下の設定は必要ありません。
・画面で表示される数字や文字はお使いの環境によって異なります。

作業の流れ

ここでは、本製品の IP アドレスを変更する手順の流れを説明します。本製品の IP アドレスを変更するには、一旦パソコンの IP アドレスを変更する必要がありますので、ご注意ください。

①パソコンの IP アドレスを変更する（P20）

本製品の Web 設定画面を表示するため､一時的にパソコンの IP アドレスを「192.168.11.21」（下線部は 150 を除く 1 ～ 250 の数字）に変更する手順を説明します。



②本製品の IP アドレスを変更する（P26）

本製品の IP アドレスを変更する手順を説明します。



③パソコンの IP アドレスを元に戻す（P28)

パソコンの IP アドレスを元に戻す手順を説明します。

①パソコンの IP アドレスを変更する

パソコンの IP アドレスを変更する手順を説明します。お使いの OS によって手順が異なりますので、ご注意ください

■ Windows Vista の場合

1 [スタート] ー [コントロールパネル] を選択し、[ファイルの共有の設定] を選択します。



[ファイルの共有の設定] をクリックします。

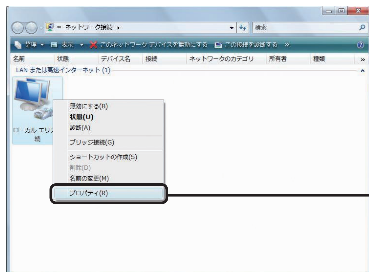
2 [ネットワーク接続の管理] を選択します。



[ネットワーク接続の管理] をクリックします。

次のページへ続く

3 ［ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。



[プロパティ] を選択します。

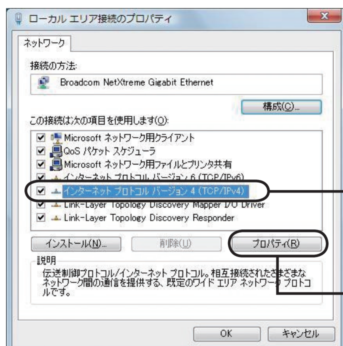
※ [ローカルエリア接続] は、お使いの環境により表示される名称が異なる場合があります。

4 [プロパティ] をクリックします。



[プロパティ] をクリックします。

5 ［インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4)］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

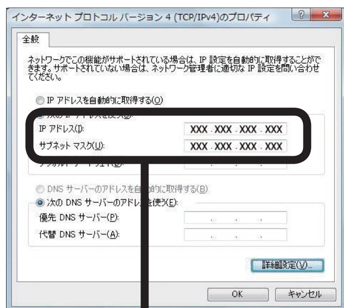


① [インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）] を選択します。

② [プロパティ] をクリックします。

次のページへ続く

6 IP アドレスとサブネットマスクをメモします。



IP アドレス・サブネットマスクをメモしてください。

本製品の IP アドレスを変更するために、一旦パソコンの IP アドレスを変更する必要があります。本製品の IP アドレスを変更したら元に戻す戻しますので、忘れないように必ずメモしてください。

＜メモするときにお使いください＞

IP アドレス：□□□.□□□.□□□.□□□

サブネットマスク：□□□.□□□.□□□.□□□

IP アドレスやサブネットマスクが表示されていないときは？

パソコンがインターネットに接続されているかによって状態が異なります。

■インターネットに接続されている場合

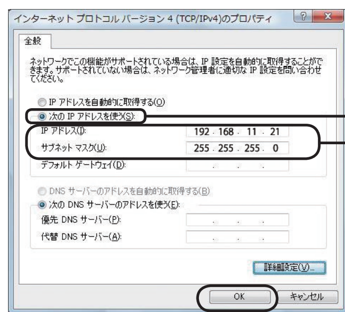
お使いの環境には、ルーター、または、ルーター機能を搭載した機器が存在します。以降の手順は必要ありません。本製品に接続できないときは、ファイアウォールを無効にしてください。

■インターネットに接続されていない場合

お使いのパソコンには IP アドレスが設定されていません。次ページの手順 7 でパソコンの IP アドレスを設定し、そのままお使いください。「本製品の IP アドレスを設定する」および「パソコンの IP アドレスを元に戻す」の手順は必要ありません。

次のページへ続く

7 ［次の IP アドレスを使う］を選択後、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力し、［OK］をクリックします。



①［次の IP アドレスを使う］を選択します。
② IP アドレスに「192.168.11.21」(下線部は 150 を除く 1～248 までの数字のいずれか)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。
※本製品の IP アドレスは、ルーターがない場合 192.168.11.150 となります。
③ [OK] をクリックします。

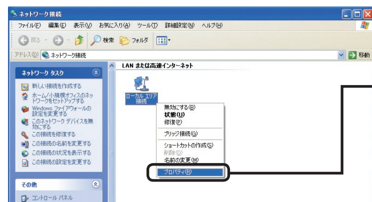
以上で パソコンの IP アドレス変更は完了です。続いて P26 を参照して本製品の IP アドレスを変更してください。

メモ 手順 6 でパソコンの IP アドレスとサブネットマスクが表示されなかった場合は、これで完了です。本製品の IP アドレスを変更させる必要ありません。

■ Windows XP/2000 の場合

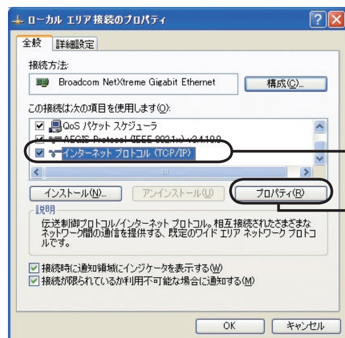
1 ［マイネットワーク］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。

2 [ローカルエリア接続］を右クリックし、［プロパティ］を選択します。



[プロパティ] を選択します。
※ [ローカルエリア接続] は、お使いの環境により表示される名称が異なる場合があります。

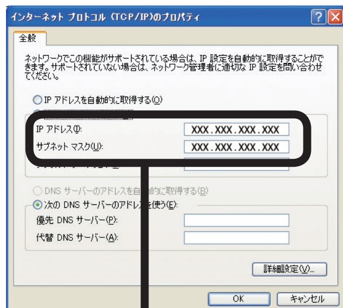
3 ［インターネット プロトコル（TCP/IP)］を選択し、[プロパティ］をクリックします。



① [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択します。
② [プロパティ] をクリックします。

次のページへ続く

4 IP アドレスとサブネットマスクをメモします



IP アドレス・サブネットマスクをメモしてください。

本製品の IP アドレスを変更するために、一旦パソコンの IP アドレスを変更する必要があります。本製品の IP アドレスを変更したら元に戻す戻しますので、忘れないように必ずメモしてください。

<メモするときにお使いください>

IP アドレス：□□□.□□□.□□□.□□□

サブネットマスク：□□□.□□□.□□□.□□□

IP アドレスやサブネットマスクが表示されていないときは？

パソコンがインターネットに接続されているかによって状態が異なります。

■インターネットに接続されている場合

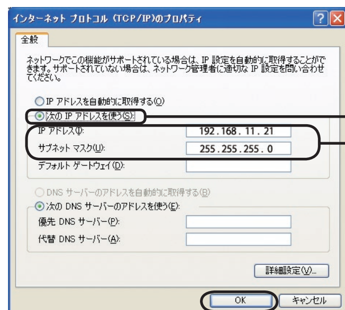
お使いの環境には、ルーター、または、ルーター機能を搭載した機器が存在します。以降の手順は必要ありません。本製品に接続できないときは、ファイアウォールを無効にしてください。

■インターネットに接続されていない場合

お使いのパソコンには IP アドレスが設定されていません。次ページの手順 5 でパソコンの IP アドレスを設定し、そのままお使いください。「本製品の IP アドレスを設定する」および「パソコンの IP アドレスを元に戻す」の手順は必要ありません。

次のページへ続く

5 ［次の IP アドレスを使う］を選択後、IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイを入力し、［OK］をクリックします。



① ［次の IP アドレスを使う］を選択します。

② IP アドレスに「192.168.11.21」(下線部は 150 を除く 1 ～ 248 までの数字のいずれか)、サブネットマスクに「255.255.255.0」と入力します。

※本製品の IP アドレスは、ルーターがない場合 192.168.11.150 となります。

③ [OK] をクリックします。

以上で IP アドレス変更は完了です。続いて次ページを参照して本製品の IP アドレスを変更してください。

メモ　手順 4 でパソコンの IP アドレスとサブネットマスクが表示されなかった場合は、これで完了です。本製品の IP アドレスを変更させる必要ありません。

②本製品の IP アドレスを変更する

本製品の IP アドレスを変更する方法を説明します。

1 **本製品を LAN モードに変更します。**

2 **パソコンにユーティリティー CD をセットします。**

3 **［オプション］をクリックします。**



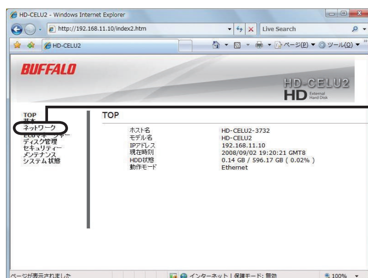
[オプション] をクリックします。

4 **［Web 設定画面を開く］をクリックします。**



[Web 設定画面を開く] をクリックします。

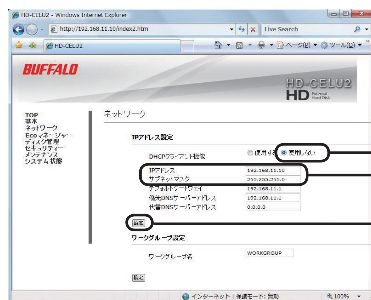
5 **［ネットワーク］を選択します。**



[ネットワーク] をクリックします。

次のページへ続く

6 **DHCP クライアント機能を［使用しない］にして、IP アドレス、サブネットマスクを入力後、［設定］をクリックします。**



①［使用しない］にチェックを入れます。
②［IP アドレス、サブネットマスク］を入力します。
③［設定］にクリックします。

本製品に設定する IP アドレスの値は？

P22 または P24 でメモしたパソコンの IP アドレスを参考に、以下のような値を設定します。

パソコンの IP アドレス	本製品の IP アドレス
192.168.11.2　の場合	192.168.11.12　に設定します。

同じ値にする（192.168.11）

1 〜 254 の数字でパソコンと違う値にする（最後の数字）

本製品に設定するサブネットマスクの値は？

本製品のサブネットマスクは、パソコンのサブネットマスクと同じ値を設定します。

パソコンのサブネットマスク	本製品のサブネットマスク
255.255.255.0　の場合	255.255.255.0　に設定します。

同じ値にする

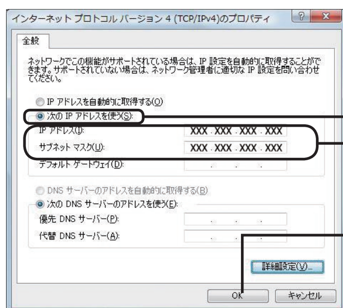
③パソコンの IP アドレスを元に戻す

パソコンの IP アドレスを元の値に戻す手順を説明します。

■ Windows Vista の場合

1 **パソコンの IP アドレスを変更するの手順 1 ～ 5（P20 ～ 21 参照）を行います。**

2 **P22 でメモした IP アドレス、サブネットマスクを入力し、［OK］をクリックします。**



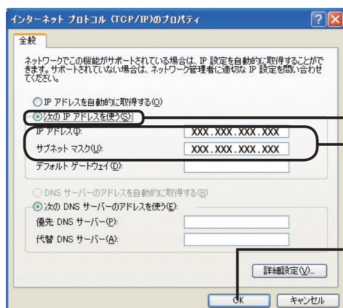
①［次の IP アドレスを使う］を選択します。
② P22 でメモした IP アドレスとサブネットマスクを入力します。
③ [OK] をクリックします。

以上で 完了です。

■ Windows XP/2000 の場合

1 **パソコンの IP アドレスを変更するの手順 1 ～ 3（P23 参照）を行います。**

2 **P24 でメモした IP アドレス、サブネットマスクを入力し、［OK］をクリックします。**



①［次の IP アドレスを使う］を選択します。
② P24 でメモした IP アドレスとサブネットマスクを入力します。
③ [OK] をクリックします。

以上で 完了です。

設定をリセットする (工場出荷時設定に戻す)

本製品を工場出荷時の設定に戻す手順を説明します

メモ 設定をリセットしても、本製品に保存したデータは削除されません。

1 **本製品にアクセスしていないことを確認し（USB モードの場合は、本製品を取り外した後）、本製品の電源を OFF にします。**

2 **本製品のリセットボタンを押しながら、電源ボタンを押します。**

⚠注意 **リセットボタンは、電源ボタンを押した後も 30 秒間押し続けてください。**

以上で完了です。

4 Web 設定画面

本製品の Web 設定画面について説明します。

Web 設定画面とは

Web 設定画面とは、ユーティリティー CD を使って表示する本製品の設定画面です。Web 設定画面では、本製品のネットワーク設定やフォーマット、パスワード設定など行うことができます。

制限事項

Web 設置画面は以下の制限事項があります。

- Web 画面での設定内容は、LAN モード動作中のみ有効です。
- Web 画面は Internet Explorer5.0 以降のみ対応。
- Internet Explorer のプロキシ設定を行っている場合、Web 設定画面を開くことはできません。プロキシ設定を外してから実行してください。

表示方法

Web 設定画面を表示するには、以下の手順を行ってください。

1 **本製品を LAN モードにします。**

2 **ユーティリティー CD をパソコンにセットします。**

3



[オプション] をクリックします。

4



[Web 設定画面を開く] をクリックします。

※ **本製品を複数台接続している場合は、製品の選択画面が表示されます。設定を行う製品を選択し、[OK] をクリックしてください。**

以上で Web 設定画面が表示されます。

次のページへ続く

Web 設定画面の項目説明

Web 設定画面のページごとの設定項目を説明します。

TOP

Web 設定画面を開いたときに表示されるページです。本製品のホスト名や IP アドレス、HDD 状態などを表示します。

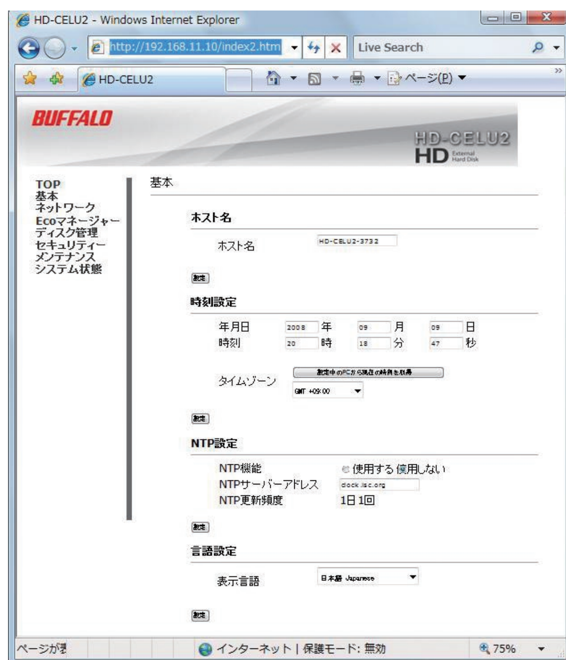


ホスト名	ネットワーク上で表示される本製品の名称を表示します。
モデル名	本製品のモデル名（製品シリーズ名）を表示します。
IP アドレス	本製品の IP アドレスを表示します。
現在時刻	現在の時刻を表示します。
HDD 状態	本製品のハードディスクの状態を表示します。表示は、「使用容量 / 全体の容量（使用率）」のように表示します。画面の例では、使用容量が 0.14GB、全体の容量が 596.17GB、使用率が 0.02% です。
動作モード	本製品の動作モードを表示します。LAN モードで動作している場合は「Ethernet」と表示され、USB モードで動作している場合は「USB」と表示されます。

※ホスト名を変更された場合、デスクトップにあるアイコン から本製品を開くことができなくなります。デスクトップのアイコンを削除した後、別紙「はじめにお読みください」の「LAN のみで接続する場合のセットアップ」の手順を行ってください。デスクトップのアイコンが新しいホスト名にあわせて作成され、本製品を開くことができるようになります。

基本

ホスト名や時刻設定、言語設定などを行えます。



<table>
<tr><td rowspan="1">ホスト名</td><td>ホスト名</td><td>本製品のホスト名（ネットワーク上で表示される名称）を設定できます。

※最大 15 文字までの入力できます。
※ 1 文字目は、2 バイト文字と 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 / * + ! ” # $ % & ’ ( ) ~ ^ \ | @ ` [ ] { }; : , < . > ? を使用できません。<br>※ 2 文字目以降は、2 バイト文字と / * + ! ” # $ % & ’ ( ) ~ ^ \ | @ ` [ ] { }; : , < . > ? はを使用できません。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">時刻設定</td><td>年月日</td><td>現在の年月日を設定できます。</td></tr>
<tr><td>時刻</td><td>現在の時刻を設定できます。</td></tr>
<tr><td>設定中の PC から現在の時刻を取得</td><td>設定画面を表示させているパソコンから、時刻設定を取得します。年月日や時刻などは、設定画面を表示させているパソコンと同じ設定にすることができます。</td></tr>
<tr><td>タイムゾーン</td><td>本製品のタイムゾーンを設定できます（わからない場合は、設定を変更せずにそのままお使いください）。</td></tr>
</table>

NTP 機能	NTP 機能	ネットワークを通じて時刻を自動修正する NTP 機能を使用するか、使用しないかの設定を行えます。
	NTP サーバーアドレス	NTP サーバーの DNS 名 (FQDN) または IP アドレスを設定できます。 入力例：ntp.jst.mfeed.ad.jp または　192.168.11.123
	NTP 更新頻度	NTP サーバーにアクセスする（時間を調整する）タイミングを表示しています。 ※プロキシサーバー等を通して NTP サーバーへアクセスする場合、ネットワーク環境によってはプロキシサーバー外部の NTP サーバーへのアクセスが失敗することが あります。 ※ 1 日 1 回の設定から変更できません。
言語設定	表示言語	設定画面で表示する言語を設定できます。

※ホスト名を変更された場合、デスクトップにあるアイコン から本製品を開くことができなくなります。デスクトップのアイコンを削除した後、別紙「はじめにお読みください」の「LAN のみで接続する場合のセットアップ」の手順を行ってください。デスクトップのアイコンが新しいホスト名にあわせて作成され、本製品を開くことができるようになります。

ネットワーク

本製品のネットワーク設定を行えます。

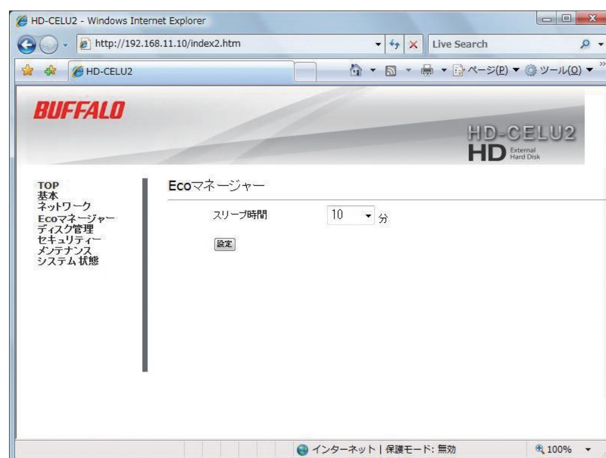


<table>
<tr><td rowspan="6">IP アドレス設定</td><td>DHCP クライアント機能</td><td>ネットワーク内に DHCP サーバー（ルーターなど）がある場合に、本製品の IP アドレスを自動的に取得する機能を使用するか、使用しないか設定できます。「使用する」に設定すると、ネットワーク上にルーターなどの DHCP サーバーがある場合に自動で IP アドレスを取得できます。「使用しない」にすると、IP アドレスなどをご自身で設定していただく必要があります。</td></tr>
<tr><td>IP アドレス</td><td>本製品の IP アドレスを設定できます。</td></tr>
<tr><td>サブネットマスク</td><td>本製品のサブネットマスクを設定できます。</td></tr>
<tr><td>デフォルトゲートウェイ</td><td>デフォルトゲートウェイの IP アドレスを設定できます。</td></tr>
<tr><td>優先 DNS サーバーアドレス</td><td>優先する DNS サーバーの IP アドレスを設定できます。</td></tr>
<tr><td>代替 DNS サーバーアドレス</td><td>代替の DNS サーバーの IP アドレスを設定できます。</td></tr>
<tr><td>ワークグループ設定</td><td>ワークグループ名</td><td>本製品のワークグループを設定できます。
※半角英数 15 文字まで入力できます。
※ 2 バイト文字と / * + ! ” # $ % & ’ ( ) ~ ^ \ | @ ` [ ] { } ; : , < . > ? は使用できません。</td></tr>
</table>

Eco マネージャー

LAN モード時の省電力設定を行えます。

メモ USB モードの場合は、付属ソフトウェアの「eco マネージャー for HD」の省電力設定に従い動作します。



スリープ時間	本製品にアクセスがない場合に、どのくらいの時間で本製品のハードディスクの回転を停止するか設定できます。 ハードディスクの回転を停止した場合、本製品の電源は ON のままとなりますが、消費電力が抑えられます。また、アクセスがあるとハードディスクの回転を開始して、通常の使用できる状態に自動で戻ります。

ディスク管理

ディスクのチェックとフォーマットを行えます。



ディスクチェック	本製品のハードディスクのチェックを行えます。チェックを行う場合は、[ディスクチェック開始] をクリックします。[ログを削除] をクリックすると、チェックしたログを消去できます。
ディスクフォーマット	本製品のフォーマットを行えます。フォーマットする場合は、[フォーマット開始] をクリックします。 ※フォーマットを行うと、保存されている全てのデータが消去されます。

セキュリティー

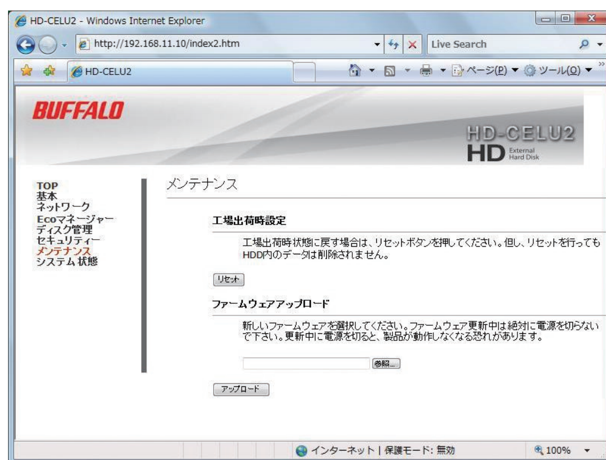
Web 設定画面を表示する際のパスワードを設定したり、LAN モードでアクセスするときにパスワードを必要とさせるかの設定を行えます。



Administrator	ユーザー名	管理者用のユーザー名を表示します。 ※ユーザー名は「admin」から変更できません。
	パスワード	管理者用のパスワードを設定できます。 ※最大 12 文字まで入力できます。 ※ 2 バイト文字と’ “ は使用できません。
	パスワード（確認）	管理者用パスワードを設定する場合の確認用に、設定する管理者パスワードを入力します。
共有フォルダーのセキュリティー	共有フォルダーのパスワード	本製品の共有フォルダーを使用する際に、管理者用パスワードを入力させるかを設定できます。管理者用パスワード入力を必要とする場合に「使用する」に設定してください。

メンテナンス

本製品を工場出荷時の設定に戻したり、ファームウェアのアップロードを行うことができます。



工場出荷時設定	本製品の設定を初期化（工場出荷時の設定に戻すこと）したい場合に「リセット」をクリックします。 ※本製品の設定を初期化しても、本製品に保存したデータは消去されません。本製品に保存したデータを消去した場合は、設定画面の「ディスク管理」からディスクフォーマットを行ってください。
ファームウェアアップロード	本製品のファームウェアをアップロードできます。[参照] をクリックしてアップロードするファームウェアを指定し、[アップロード] をクリックすることでファームウェアをアップロードできます。 ※ファームウェアのアップロード中は、絶対に本製品の電源をOFF にしないでください。アップロード中に OFF にすると、本製品が正常に動作しなくなる恐れがあります。 ※弊社がリリースしたファームウェアのみを選択してください（2008 年 11 月現在、ファームウェアはリリースされていません）。

システム状態

本製品のシステム状態を表示します。



システム状態	本製品のシステム状態を表示します。
ネットワーク情報	ネットワーク情報を表示します。

5 付録

バックアップ

バックアップの必要性

ハードディスクに蓄えられた重要なデータを保護するために、外部のメディアにデータの複製を作成することを「バックアップ」といいます。大容量ハードディスクには、日々大量のデータが格納されます。事故や人為的なミスなど不測の事態でデータを失うことは、業務上大きな損失となります。
バックアップを行えば、同じデータが複数のメディア（ハードディスクなど）に保存されます。そのため、万が一、1 つのメディアに保存したデータが破損・消失した場合でも、他のメディアから破損・消失したデータを復元することができます。

⚠注意 **ハードディスクを使用する場合は、定期的にバックアップを作成してください。**

バックアップ用のメディア

バックアップ用のメディアには次のようなものがあります。

・Blu-ray ディスク
・DVD-R/RW　・DVD+R/RW　・DVD-RAM　・CD-R/RW
・光磁気ディスク（MO）　・増設ハードディスク　・ネットワーク（LAN）サーバ

可能な限り DVD-R など容量の大きいメディアにバックアップすることをおすすめします。

増設ハードディスクにバックアップする場合は、そのハードディスクをバックアップ専用にすることをおすすめします。

バックアップデータの復元（リストア）

バックアップデータを元のハードディスクに復元することをリストアといいます。

リストアコマンド／ツールは、一般的にバックアップコマンド／ツールで指定されたもの以外は使用できません。マニュアルなどで確認して使用してください。

ハードディスクのエラーチェック（スキャンディスク）【USB モードのみ】

Windows には､ハードディスクのエラー（異常）をチェックするためのツールが付属しています。このツールはエラーを修復することもできます。ハードディスクを安全に使用するために、ハードディスクを定期的にチェックすることをおすすめします。

メモ **・LAN モードでは、Web 設定画面からディスクチェックを行えます（P36 参照）。**
・エラーのチェック方法は、本製品のヘルプやマニュアルを参照してください。

ハードディスクの最適化（デフラグ）【USB モードのみ】

ハードディスクを長期間使用してファイルの書き込みや削除を繰り返していると、ファイルが分断されてディスクのあちらこちらに散らばってしまいます。これを断片化（フラグメンテーション）といいます。断片化されたファイルは、読み書きする際にディスクのあちらこちらにアクセスしなくてはいけないため、時間がかかっています。

このように散らばってしまったファイルをきれいに並べなおすことを､最適化（デフラグメンテーション）といいます。ハードディスクを最適化すると､ディスクアクセスの速度が改善されます。

Windows には、断片化したハードディスクを最適化するためのツールが付属しています。ハードディスクを快適に使用するために、定期的にハードディスクを最適化することをおすすめします。

⚠注意 **LAN モードでは最適化できません。**

メモ **最適化の方法は、本製品のヘルプやマニュアルを参照してください。**

特定のソフトウェアが使用できない場合

パソコン標準搭載のハードディスクを対象にしたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。
その場合は、パソコンに標準搭載のハードディスクを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカー（プリインストールソフトウェアではパソコンメーカーの場合があります）にご確認ください。

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ（buffalo.jp）を参照してください。

インターフェース（USB ポート）	準拠規格　：USB Specification Rev2.0 コネクター　：USB シリーズ B コネクター 転送速度　：最大 480Mbps（※ 1）
インターフェース（LAN ポート）	インターフェース：IEEE802.3u 準拠 (100BASE-TX)、IEEE802.3 準拠 (10BASE-TX) 伝送速度　：100Mbps 全二重 / 半二重 (自動認識)、10Mbps 全二重 / 半二重 (自動認識) ポート数　：1 ポート (AUTO-MDIX 対応) コネクター　：RJ-45 型　8 極
セクター容量	512Bytes
シークタイム	最大 11msec
出荷時フォーマット形式	FAT32(1 パーティション)
外形寸法	45(W) × 175(H) × 156(D)mm（突起物含まず）
消費電力	最大 24W、平均 17W
電源	AC100V、50/60Hz
動作環境	温度：5 〜 35℃
	湿度：20 〜 80%(結露なきこと)
対応機種	USB モード時 ・USB 標準搭載の DOS/V 機 (OADG 準拠) ・弊社製 USB インターフェイスボード搭載の DOS/V 機 (OADG 準拠) LAN モード時 ・LAN 標準搭載の DOS/V 機 (OADG 仕様) ・弊社製 LAN インターフェイスボード搭載の DOS/V 機 (OADG 準拠)
対応 OS	Windows Vista/ XP /2000

※ 1 本製品を、USB2.0 で規定されている HS モード（最大転送速度 480Mbps）で使用するには、弊社製 USB2.0 インターフェース（または USB2.0 に対応したパソコン本体）が必要です。

HD-CELU2 シリーズ ユーザーズマニュアル
2008 年 10 月 7 日 初版発行
発行　　株式会社バッファロー